

24年闘いつづけて

鈴木さんが統一協会に
関わらざるまかせは？

僕個人としては、2002年に東京・JR渋谷駅の改札を出たところで偽装勧誘の現場に遭遇し、そこに介入してやめさせたことがきっかけです。目の前に、被害に遭いそうな人がいるのを放置できなかった、一市民としての活動が協会との格闘の始まりです。

最初の5年くらいは、施設管理の仕事を通ししながら、休日と平日は夕方から、渋谷や新宿、池袋の駅頭に毎日のように通い、偽装勧誘の阻止活動をしていました。2007年くらいから、得

「TM特別報告」の衝撃
協会と政治家との癒着を示す新たな情報も出ているんですね。

協会側の「TM特別報告」という内部文書が、昨年末に韓国の捜査機関

「徹底解明はこれから」と話す鈴木エイトさん



「徹底解明はこれから」と話す鈴木エイトさん

治家と協会との関係を調べたのは2013年くらいですが、安倍氏一強時代だったその頃、何を書いても反応はありませんでした。信者の偽装勧誘に対しては「なぜ正体を隠すのか？」と言ってきただけです。政治家に対しては「なぜ教団との関係を隠すのか？」と問い続けてきました。

社会的弱者の代弁者にならなくてはいけないという思いは言論活動を始めてからずっとありました。自分が伝えなければ、社会の陰で被害を受けている人たちが可視化されないとの思いも常にあり、やめようと思ったことは一度もありません。

高市首相の最側近、佐藤啓内閣官房副長官(奈良県選出)の銃撃事件当日の動きや協会との親密な関係性を示す記述もあります。貴重な情報の宝庫ですが、今回表に出たのは5000ページ分の約3200ページで、2018年から23年の期間

問題は解決していない

双方の関係は断ち切れるのでしょうか？

2022年に当時の岸田文雄首相は国会で、「この先関係を断つことが一番大事だ」と答弁しました。一見ちゃんとしたことを言っているようですが、過去にさかのぼり調査はしないということですから、簡単な自己申告点検だけで済ませ、この機に「終わりにしたい」というのが、TM特別報告に32回言及されている高市

首相を含めた自民党の本音なのでしょう。

高市首相が制定に強い意欲を示す「スパイ防止法」は、協会系の政治団体「国際勝共連合」が半世紀にわたり制定運動を主導してきました。国益を守るためというのであれば、政権中枢にまで入り込み、KCIA(韓国中央情報部)との関係も指摘された教団との関係こそ徹底解明すべきです。

協会が反省するどころか、2世を前面にたて、「被害者アピール」をする卑怯な戦略にでています。顔を出し活動させられている2世の中には女性が多いのです。もともと協会は、若い女性や主婦層をターゲットにし、信者も女性の比率が高くなり、合同結婚式などの被害が続いてきました。

協会には反省するどころか、2世を前面にたて、「被害者アピール」をする卑怯な戦略にでています。顔を出し活動させられている2世の中には女性が多いのです。もともと協会は、若い女性や主婦層をターゲットにし、信者も女性の比率が高くなり、合同結婚式などの被害が続いてきました。

協会には反省するどころか、2世を前面にたて、「被害者アピール」をする卑怯な戦略にでています。顔を出し活動させられている2世の中には女性が多いのです。もともと協会は、若い女性や主婦層をターゲットにし、信者も女性の比率が高くなり、合同結婚式などの被害が続いてきました。

協会には反省するどころか、2世を前面にたて、「被害者アピール」をする卑怯な戦略にでています。顔を出し活動させられている2世の中には女性が多いのです。もともと協会は、若い女性や主婦層をターゲットにし、信者も女性の比率が高くなり、合同結婚式などの被害が続いてきました。

協会には反省するどころか、2世を前面にたて、「被害者アピール」をする卑怯な戦略にでています。顔を出し活動させられている2世の中には女性が多いのです。もともと協会は、若い女性や主婦層をターゲットにし、信者も女性の比率が高くなり、合同結婚式などの被害が続いてきました。

協会には反省するどころか、2世を前面にたて、「被害者アピール」をする卑怯な戦略にでています。顔を出し活動させられている2世の中には女性が多いのです。もともと協会は、若い女性や主婦層をターゲットにし、信者も女性の比率が高くなり、合同結婚式などの被害が続いてきました。

協会には反省するどころか、2世を前面にたて、「被害者アピール」をする卑怯な戦略にでています。顔を出し活動させられている2世の中には女性が多いのです。もともと協会は、若い女性や主婦層をターゲットにし、信者も女性の比率が高くなり、合同結婚式などの被害が続いてきました。

協会には反省するどころか、2世を前面にたて、「被害者アピール」をする卑怯な戦略にでています。顔を出し活動させられている2世の中には女性が多いのです。もともと協会は、若い女性や主婦層をターゲットにし、信者も女性の比率が高くなり、合同結婚式などの被害が続いてきました。

協会には反省するどころか、2世を前面にたて、「被害者アピール」をする卑怯な戦略にでています。顔を出し活動させられている2世の中には女性が多いのです。もともと協会は、若い女性や主婦層をターゲットにし、信者も女性の比率が高くなり、合同結婚式などの被害が続いてきました。

協会には反省するどころか、2世を前面にたて、「被害者アピール」をする卑怯な戦略にでています。顔を出し活動させられている2世の中には女性が多いのです。もともと協会は、若い女性や主婦層をターゲットにし、信者も女性の比率が高くなり、合同結婚式などの被害が続いてきました。

協会には反省するどころか、2世を前面にたて、「被害者アピール」をする卑怯な戦略にでています。顔を出し活動させられている2世の中には女性が多いのです。もともと協会は、若い女性や主婦層をターゲットにし、信者も女性の比率が高くなり、合同結婚式などの被害が続いてきました。

協会には反省するどころか、2世を前面にたて、「被害者アピール」をする卑怯な戦略にでています。顔を出し活動させられている2世の中には女性が多いのです。もともと協会は、若い女性や主婦層をターゲットにし、信者も女性の比率が高くなり、合同結婚式などの被害が続いてきました。



新婦人は統一協会の問題を告発し社会的解決を求めてきた。写真は新婦人しんぶん(1980~90年代)

国会 スポット

■異例の短期審議で予算成立 4月7日、参院予算委で26年度予算が自民、維新、保守などの賛成多数で可決、成立。戦後3番目の短期間という異例の早さで審議を強行。軍事費が初の9兆円超と異常突出し、防衛増税も。医療費など社会保障は削減、物価高対策が不足しており、暮らしを後回しにする姿勢が露呈した。

■自民、改憲条文起草を提案 衆院憲法審査会は9日、衆院選後初の討議をおこなった。改憲勢力が委員の9割に迫るなか、自民党は緊急事態条項などの条文起草に向けた作業入りを提案。野党も検討に合意、反対したのは共産党だけだった。

■「公務員を予備自衛官に」推進 政府は3日、公務員が予備自衛官を兼業しやすくする特例法案を閣議決定。人員不足を背景に手続きの簡略化で充足率向上を急ぐが、公務員へ動員圧力となりかねない。

統一協会解散後の課題

解散後の課題は？

東京高裁の即時抗告棄却(3月4日)で解散命令が決定し、協会の財産を整理し、被害者への救済にあてる清算手続きが始まっています。5月からの1年間は、被害を自覚している人が債権を申し出る期間となります。心あたりのある方は、全国統一教会被害対策弁護団や全国霊感商法対策弁護士連絡会などの弁護士団体にとりあえず相談してほしいと思います。

解散後も課題は山積しています。

協会が法人としては解体されますが、宗教団体としての活動は続き、関係団体も残ります。新団体設立の動きもあり、警戒をゆるめることはできません。さらに、地方議員や首長に協会の関係者がたくさん入っており、政治家との関係も形を変えて復活する可能性は十分にあります。

被害の拡大を防げなかった背景には、メディアの責任や、協会に「お墨つき」を与えてきた政治家の責任もあります。5月には、山上被告との面談・傍聴をまとめた新刊を出す予定です。事件の背景やまだ皆さんが気づいていない事実、高裁の審理にも影響する内容をしっかり書き込むつもりです。皆さんも「終わって」とにせず関心を持ち続けてほしいです。僕も取材をつづけ、政治家に対しての検証を求めつづけていきたいと思います。

女性 ニューズ

2026. 4. 18

「憲法守れ」と全国で

4月8日夜におこなわれた国会前の「平和憲法を守るための緊急アクション」に3万人が参加。これに呼応したペンライト集会などが47都道府県約160カ所超、約5万人の行動となった。(関連4面)

イラン攻撃一時停止

イラン攻撃やめよと米国内外の批

判が高まるなか、7日、トランプ米大統領は、原油輸送の要衝ホルムズ海峡の開放を条件に2週間の停戦を合意したと発表。しかし、その10時間後にイスラエルはレバノンを空爆、日英仏9カ国首脳とEU(欧州連合)は停戦履行をと共同声明を発表。

「子ども欲しくない」

将来を含めて「子どもが欲しくない」という未婚男女が62.6%と2018

年の調査開始以来、過去最高に。女性の71.7%が「経済的負担が不安」と。(ロート製薬調査)

強制連行謝罪を

戦後81年、未だ解決していない日本の植民地支配下の朝鮮から強制連行し過酷な労働を強いた問題で、当事者と遺族が9日、三菱重工業や日本製鉄など加害企業に謝罪を求め、院内集会や抗議行動をおこなった。